

安全データシート

作成日:2000年9月1日
改訂日:2020年3月30日

1. 化学品及び会社情報

化学品の名称
会社名
住所
電話番号

キンヒドロン
米山薬品工業株式会社
大阪府中央区道修町2丁目3番11号
(06)6231-3555(大阪・本社)
(03)3246-2311(東京) (0268)22-5910(上田)
(052)504-2221(名古屋) (082)537-0290(広島)
BB0185

整理番号

2. 危険有害性の要約

健康に対する有害性
ラベル要素
絵表示又はシンボル

急性毒性（経口）：区分3



注意喚起語
危険有害性情報
注意書き

危険
飲み込むと有毒(経口)
【安全対策】
取扱い後はよく手を洗うこと。
この製品を使用する時に飲食又は喫煙をしないこと。
【応急処置】
飲み込んだ場合:直ちに医師に連絡すること。
口をすすぐこと。
【保管】
施設して保管すること。
【廃棄】
内容物、容器を都道府県知事の許可を受けた専門の廃棄物処理業者に業務委託すること。
可燃性がある。
眼、皮膚を刺激する。燃焼により有毒ガスを発生する。
分子内にヒドロキノンの構造を持つ為、同様の有害性が推測される。

GHS分類に該当しない他の危険有害性

3. 組成、成分情報

化学物質・混合物の区別
化学名又は一般名

化学品
キンヒドロン
(ヒドロキノンとp-ベンゾキノンの1:1の分子化合物)

別名
化学式
化学物質を特定できる一般的な番号
濃度又は濃度範囲
官報公示整理番号(化審法/安衛法)

—
 $C_6H_4(OH)_2 \cdot C_6H_4O_2$
CAS RN: 106-34-3
p-ベンゾキノンとして48~52%
—

4. 応急措置

吸入した場合

新鮮な空気のところに移動させる。気分が悪い時は医師の診断/手当てを受ける。

皮膚に付着した場合

汚染された衣服を脱がせる。多量の水かシャワーで皮膚を洗い流す。皮膚への刺激が続く場合、医師の診断/手当てを受ける。

眼に入った場合

数分間多量の水で洗い流し(できればコンタクトレンズを外して)、医師の診断/手当てを受ける。

飲み込んだ場合

口をすすぐ。多量の水を飲ませる。気分が悪い時は医師の診断/手当てを受ける。

5. 火災時の措置	
適切な消火剤	水噴霧、泡消火薬剤、粉末消火薬剤、二酸化炭素
使ってはならない消火剤	該当情報なし。
特有の危険有害性	該当情報なし。
特有の消火方法	該当情報なし。
消火を行う者の保護	消火活動は風上から行い、有害なガスの吸入を避ける。状況に応じて呼吸保護具を着用する。
6. 漏出時の措置	
人体に対する注意事項、保護具及び緊急時措置	作業の際には適切な保護具を着用し風上から作業して、風下の人を退避させる。 保護手袋、保護眼鏡、保護衣を着用する。
環境に対する注意事項	河川等へ排出され環境への影響を起こさないように注意する。
封じ込め及び浄化の方法及び機材	こぼれた物質を容器内に集める。
二次災害の防止策	該当情報なし。
7. 取扱い及び保管上の注意	
取扱い	
技術的対策	作業場には全体換気装置、局所排気装置を設置すること。
安全取扱い注意事項	皮膚との接触を避けること。
接触回避	酸化剤との接触を避ける。
衛生対策	取扱い後はよく手を洗うこと。
保管	
安全な保管条件	直射日光を避け、容器は乾燥した涼しい場所に貯蔵し、密封する。
安全な容器包装材料	ポリエチレン
8. 暴露防止及び保護措置	
許容濃度（出典）	
管理濃度	未設定
日本産業衛生学会	未設定
ACGIH	未設定
設備対策	取扱いについては、できるだけ密閉化を行うか、局所排気装置を使用する。
保護具	該当情報なし。
呼吸用保護具	粉じんマスクを着用する。
手の保護具	ゴム手袋を着用する。
眼の保護具	ゴーグルを着用する。
皮膚及び身体の保護具	作業着を着用する。
9. 物理的及び化学的性質	
物理状態	細針状の結晶又は結晶性粉末
色	緑色の表面光沢を持つ赤茶色
臭い	該当情報なし。
融点・凝固点	169~172°C
沸点、初留点及び沸騰範囲	該当情報なし。
可燃性	該当情報なし。
爆発下限界及び爆発上限界/可燃限界	該当情報なし。
引火点	該当情報なし。
自然発火温度	該当情報なし。
分解温度	該当情報なし。
pH	該当情報なし。
動粘性率（粘度）	該当情報なし。
溶解度	4g/L (20°C, 水) 冷水にわずかに溶け、熱水に溶けやすく、赤褐色の液を生じる。エタノール、ジエチルエーテルに黄色を呈して溶け、石油エーテルに溶けない。
n-オクタノール/水分分配係数	logPow = 0.16

蒸気圧	該当情報なし。
密度及び/又は相対密度	1.40g/cm ³ (20℃)
相対ガス密度	該当情報なし。
蒸発速度	該当情報なし。
10. 安定性及び反応性	
反応性、化学的安定性	空气中で徐々に着色する。酸化剤と反応してp-ベンゾキノン、還元剤との反応でヒドロキノンを生成する。
危険有害反応可能性	該当情報なし。
避けるべき条件	日光、熱
混触危険物質	酸化剤
危険有害な分解生成物	該当情報なし。
11. 有害性情報	
急性毒性	経口-ラット LD ₅₀ =225mg/kg (区分3)
皮膚腐食性及び皮膚刺激性	該当情報なし。(分類できない)
眼に対する重篤な損傷性又は眼刺激性	該当情報なし。(分類できない)
呼吸器感作性又は皮膚感作性	該当情報なし。(分類できない)
生殖細胞変異原性	該当情報なし。(分類できない)
発がん性	該当情報なし。(分類できない)
生殖毒性	厚労省による既存化学物質の有害性調査結果ではAmes試験で変異原性は認められていない。
特定標的臓器毒性 (単回暴露)	該当情報なし。(分類できない)
特定標的臓器毒性 (反復暴露)	該当情報なし。(分類できない)
誤えん有害性	該当情報なし。(分類できない)
12. 環境影響情報	
生態毒性	該当情報なし。
残留性・分解性	該当情報なし。
生体蓄積性	該当情報なし。
土壤中の移動性	該当情報なし。
オゾン層への有害性	当該物質はモントリオール議定書の附属書に列記されていない。
13. 廃棄上の注意	
化学品、汚染容器及び包装の安全でかつ環境上望ましい廃棄、又はリサイクルに関する情報	産業廃棄物処理認定業者に委託して処理する。
14. 輸送上の注意	
国際規制	
国連番号	—
品名 (国連輸送名)	—
国連分類	—
容器等級	—
輸送又は輸送手段に関する特別の安全対策	運搬に際しては容器に漏れないことを確かめ、転倒、落下、損傷がないよう積み込み、荷くずれの防止を確実にを行う。
国内規制がある場合の規制情報	
陸上輸送	消防法の規定に従う。
海上輸送	船舶安全法の規定に従う。
航空輸送	航空法の規定に従う。
応急措置指針番号	—
15. 適用法令	
化学物質管理促進法 (PRTR法)	指定化学物質に該当しない。
毒物及び劇物取締法	毒物及び劇物に該当しない。
労働安全衛生法	名称等を表示し、又は通知すべき危険物及び有害物に該当しない。
消防法	危険物に該当しない。
16. その他の情報	

引用文献

16615の化学商品（化学工業日報社）
NITE-CHRIP(製品評価技術基盤機構HP)

GHSガイドラインラベル及び表示・安全データシート作成指針（日本化学工業協会）

記載内容のうち、含有量、物理／化学的性質等の数値は保証値ではありません。危険・有害性の評価は、現時点で入手できる資料・情報 データ等に基づいて作成しておりますが、すべての資料を網羅した訳ではありませんので取り扱いには十分注意して下さい。